



県政報告 Vol.34

2025.10月発行



愛知県議会議員 神谷まさひろ

「日記で綴る県政報告Vol. 34」をお届けします。今回は6月議会から9月議会までの間、様々な行事への出席など議員としての活動の一端を紹介しています。ぜひともご一読頂き、県政を少しでも身近に感じて頂けたら幸いです。



7.5 土

映画「大空へはばたこう～自立への挑戦～」 多様な障害者サービスの提供を

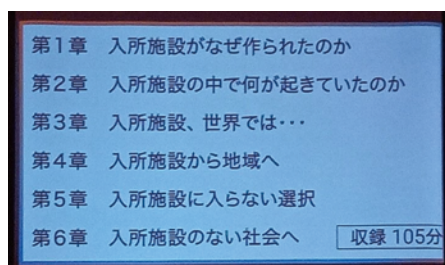
愛

知県重度障害者団体連絡協議会主催による映画「大空へはばたこう～自立への挑戦～」の上映会&アフタートークの会に参加しました。

「知的障害者が自立を実現するためにはどうすればいいのか?」「知的障害者にとって入所施設は必要なのだろうか?」という問いかけから制作された映画です。そしてアフタートークでは、この映画の監督小川道幸氏と障害を持ちながらも地域生活を現在送っておられる当事者との対談です。

「施設から地域へ」「生まれ育った地域で自分らしく生きる」という流れは2006年に障害者自立支援法が出来た時から始まったと私は認識しています。しかし今日の映画を見て、「あれから20年近く経っているのに未だにこうした問題提起をしなければいけないほど地域移行は進んでいないのだ…」と感じました。

ただ一方で、私の所に寄せられる障害者家族からの相談で一番多いのは「私たちが高齢化して障害を持ったこの子の面倒を見られなくなった時のことが心配なので、入所施設を探したい」というものです。



こうした親としての本音の声があることが地域移行を遅らせている要因かもしれませんね。そうであれば、「地域」か「施設」かの二択ではなく、「地域」も「施設」もどちらも大切です。利用者の多様なニーズに応えられるようにすることが求められていると思います。

7.10 木

小垣江駅ホーム屋根の延伸を要望しました

『令

和7年度 名鉄三河線複線化促進期成同盟会総会』に出席しました。

この会の目的は会の名称にあるように「名鉄三河線の複線化」ですが、それ以外にも各駅に対する地区別要望事項というものがあります。その中で今年初めて提案されている項目を目にしました。「小垣江駅におけるホーム屋根の延伸について」という項目です。

『現在、小垣江駅のホーム屋根は、改札付近からおよそ2両分の範囲で設置されている。ホームが混雑している時間帯の降雨時においては、屋根が設置されている範囲に乗客が集中することにより、転落の危険性が高まり、また、快適に駅を利用できない状況にある。駅利用者の利便性及び安全性向上のため、車両が停車する全範囲に屋根を延伸して



いただきたい。』

というものです。私が小垣江駅で街頭活動を行っていた際に市民から寄せられた声を市に届けたところ、この度正

式に期成同盟会での「地区別要望事項」として取り上げて下さったものです。市の担当課には感謝いたします。

乗降客の安全に関わる重要なことだけに、早急な改善が必要であると思います。

また小垣江駅といえば、同じく街頭活動の際に「駐輪場が飽和状態で何とかして欲しい」との声を頂いていました。

朝の街頭活動時間にはそれほどの混雑を感じないのですが、こうして昼間に見てみると確かに、駐輪場に自転車が切り切れていませんね。

この件については、地元の市議会議員さんのご尽力により改善される方向で動いているようです。この件についても市の担当課に感謝です。

7.31 木 ▶ 刈谷市がマンホールトイレを設置しています

ミ

ササガパークでのラジオ体操終了後、刈谷東高校前で約1時間の街頭活動を行いました。その刈谷東高校正門前で「避難所マンホールトイレを整備しています」の看板を目にしました。県立高校ですから愛知県が整備をしているのかと思ったらそうではなく、刈谷市の危機管理課が行っている整備のようです。



刈谷市では令和元年から8年にかけて、刈谷市内の大学1校・小学校15校・中学校5校・県立高校4校にマンホールトイレを設置しています。「あれっ、市内の中学校

は6校あるのに、なぜ5校だけなの?」と疑問に思ったのですが「富士松中学校の地域は未だ下水道が整備されていないから」とのことでした。なるほど。

県立高校についてその整備計画・状況をお知らせすると…

□刈谷高校	令和7年設計⇒8年整備	7基
□刈谷北高校	令和6年設計⇒7年整備	5基
□刈谷工科高校	令和6年設計⇒7年整備	6基
□刈谷東高校	令和6年設計⇒7年整備	5基

刈谷市全体では133基設置予定です。昨年の能登半島の地震においてもトイレ対策が問題になりましたから、そのため事前の整備として非常に良い事業であると思います。

8.9 土 ▶ 祝! 愛知県消防操法大会で刈谷市代表が2連覇しました

豊

田市で開催された『第70回愛知県消防操法大会』の応援に行きました。



刈谷市の代表として出場するのは第10分団(小垣江本郷)です。昨年は第4分団(熊)が優勝していますから、プレッシャーも掛かるところですが、見事に跳ね除けて、なんと、今年も見事に優勝に輝きました。冬の寒い時から早朝訓練に励んできた「努力は決して裏切らない」ですね。おめでとうございます\(^o^)/

写真は愛知県の江口副知事さんです。優勝の表彰状は副知事さんから手渡されました。

8.15 金 ▶ 「終戦記念日」 愛知県戦没者追悼式に参列しました

今

日8月15日は80回目の「終戦記念日」戦没者を追悼し、平和を祈念する日です。ウイंकあいちにおいて愛知県戦没者追悼式が行われました。

開式の辞・国歌斉唱・大村知事による式辞の後、スクリーンに映し出された日本武道館での全国戦没者追悼式に合わせて正午の時報と共に黙祷、そして天皇陛下のおことばを拝聴しました。議長・遺族代表による追悼の辞の後、出席者による献花が行われました。今年も若い世代の方々の献花もありました。

80年が過ぎ、当時のことを語ることが出来るご遺族は年々減っているのかもしれませんが、しかし私たちの世代が、不戦の誓いをしっかりと後世に引き継いで行かねばと思います。御霊のご冥福を心からお祈り致します。



8.20 水 『愛知県庁・議事堂・STATION Ai見学ツアー』県政や議会を身近に

有

志の皆さんによる『愛知県庁・議事堂・STATION Ai見学ツアー』に同行して事務局と共に案内をさせていただきました。

議事堂に到着するとまず始めに、愛知県経済産業局の担当者より「カーボンニュートラルに貢献する新たなエネルギーについて」愛知県の取組等の説明を受けた後、本会議場や庁舎内の正庁・講堂の見学、その後バスで移動してSTATION Aiを見学しました。刈谷市からだと高速を使えば僅か40分程で行くことが出来る近い施設ですが、実際に行かれて中に入ったという方は少なく、「今日初めて見た」という方が大半で正に「近くて遠い施設」でした。



こうした機会を通じて少しでも県政や議会を身近に感じて頂き、政治にも関心を持って頂けたら非常に嬉しく思います。

8.23 土 患者が移動する医療から、患者のもとへ届ける医療へ

愛

知万博20周年記念事業連携イベント『医療モビリティ博2025 in 愛知』に伺いました。

これまで日本では、患者が医療を受けるためには移動が不可欠でした。バス・電車・救急車・タクシーなど手段の違いこそあれ、患者が医療機関まで赴き、直接診療を受ける必要がありました。一方、超高齢化社会の到来により、都市部でも移動が困難な高齢者が増加しています。山間部や離島

では、移動の難しさが住民の医療へのアクセスを大きく制約しています。更に、令和6年能登半島地震でも明らかになったように、災害時には多くの移動困難者が発生します。

医療モビリティ(医療MaaS)とは、こうした医療アクセスの課題を解決するため、医療・移動手段(モビリティ)・情報通信技術(ICT)を融合させて、いつでもどこにいても全ての国民が等しく適切な医療サービスを受けられるようにする新しい医療のかたちです。

このイベントではそうした目的に沿った、医療コンテナ・移動薬局車・医療MaaS車両・救急車・災害支援車・介護カー・トイレカー・医療および災害用ドローンなどの車両の展示と共に、デモンストレーションが行われていました。

目指すは「患者が移動する医療から、患者のもとへ届ける医療」です。



8.27 水 刈谷病院＝依存症専門医療機関の連携拠点に選定

福

祉医療委員会の県内調査が行われ、午前中の調査先が刈谷病院でしたので地元議員として皆さんをお迎えし、歓迎の挨拶を行い、自らも調査に参加しました。

刈谷病院は本年4月に、県内の依存症専門医療機関の連携拠点となる医療機関として愛知県が選定しており、本日はその関係の調査です。

アルコール健康障害・薬物・ギャンブル等と幅広く依存症治療に取り組んでおられるほか、院内にアディクション(=依存

症)センターを開設して、研究事業や相談事業など院内外のアディクション医療窓口としても機能しているとのこと。



8.28 木 ▶ アジア・アジアパラ競技大会 ボランティア採用イベントに参加しました

来年の9月～10月に開催されるアジア競技大会とアジアパラ競技大会のボランティア採用イベントに参加しました。本年3月～4月に募集を受け、登録をして頂いた方には様々な会場で採用イベントが行われるのです。

大会概要や活動紹介といったオリエンテーションの後、7～8名のチームに別れて簡単なゲームを行うのです。ゲームを行っている間は熱中して考えている余裕はなかったのですが、もしかしたらこのゲームでそれぞれの参加者がどのようなボランティアに向いているかの適性を見ていたのかもしれないね。その後、関係者パスに使う写真の撮影、ユニフォームのサイズチェックが行われました。

ボランティアはその後、Eラーニングでの「共通研修」、リーダーのみが受講する「リーダー研修」⇒役割決定の通知が届いた後は「役割別研修」や「会場別研修」と結構忙しくスケジュールが入っています。

大会まで約1年、裏方として大会の成功にしっかり貢献したいと思っています。



9.4 木 ▶ 愛知県ボランティア活動功労者表彰 森三郎刈谷市民の会が受賞

県庁において令和7年度愛知県ボランティア活動功労者表彰式が行われ私も来賓として出席しました。

今年度は個人4人・31団体の方々が受賞され、刈谷市からは森三郎刈谷市民の会様が受賞されました。森三郎刈谷市民の会様は、刈谷市出身の童話作家・森三郎の作品を「知る」「伝える」「創り出す」ことを通じて、童話文化の普及と「心豊か

なまちづくり」を目指す市民活動団体です。創設は2012年9月23日、代表は神谷磨利子さん(写真)です。

日頃の活動に心から敬意を表すると共に、お祝い申し上げます。



9.8 月 ▶ 知立建設事務所で事業説明と市からの要望を受けました

建設委員会では毎年この時期に県内各地の建設事務所を訪問して、その管内における事業概要の説明を受けると共に、市長さんなど幹部の方から県に対する事業の提案(要望)を述べて頂き、それに対する県の取組状況を担当課が説明する、といったかたちでの調査・意見交換が行われます。

今日の午前中は豊田加茂建設事務所を訪問され、午後からは知立建設事務所(=管内の市は碧南市・刈谷市・安城市・知立市・高浜市)を訪問されましたので、私も地元議員として出席しました。

どの市も市長さんが出席されていたのですが、刈谷市の

場合は市議会が金曜日に台風の影響で本日に延期になったため市長さんではなく、土木管理課長の小川さんが出席されました。そして「主要地方道名古屋岡崎線の豊明刈谷工区における境川に架かる尾張三河橋の整備・オアシス橋工区における4車線化の整備促進」「逢妻川の河床掘削・河道拡幅などの改修事業の推進」といった要望をされました。

河川の関係については先週末に台風15号が接近して、その必要性が強く感じられるタイミングです。私も県議の立場で実現に向けて応援して行きたいと思っています。

